



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月7日

上場会社名 株式会社サンリツ

上場取引所

東

コード番号 9366

URL <https://www.srt.co.jp/>

代表者 （役職名） 代表取締役社長

（氏名） 柴本 守人

問合せ先責任者 （役職名） 執行役員経営企画本部長

（氏名） 熊倉 真由美

TEL 03-3471-0011

半期報告書提出予定日 2025年11月12日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	9,953	3.7	408	△7.1	356	13.5	230	15.8
2025年3月期中間期	9,595	0.5	440	22.4	314	△31.6	199	△36.6

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △209百万円（－％） 2025年3月期中間期 786百万円（36.1％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	41.05	40.08
2025年3月期中間期	35.68	34.84

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	23,794	11,446	47.4	2,000.83
2025年3月期	24,674	11,796	47.2	2,078.24

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 11,281百万円 2025年3月期 11,634百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	31.00	31.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	27.00	27.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	4.4	950	△8.2	730	△9.0	490	4.5	87.70

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年3月期中間期	6,006,373株	2025年3月期	6,006,373株
2026年3月期中間期	368,093株	2025年3月期	408,093株
2026年3月期中間期	5,615,423株	2025年3月期中間期	5,578,157株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、雇用の改善や賃金の上昇を背景に、緩やかな回復基調を示しました。一方で、国内の物価上昇、各国の経済政策の状況や地政学的リスク、国際金融市場の動向を巡り不確実性の高い状況が続いております。

物流業界におきましては、国際貨物は、半導体関連の需要は堅調に推移したものの、海上・航空ともに輸出量は減少傾向となりました。国内貨物については、消費者関連貨物の増加が見られたものの、建設関連貨物の不調が影響し、低調な推移となりました。

このような事業環境の中、当グループは、中・長期的ビジョン「オペレーションからソリューションへ」のもと、2023年7月に策定した3ヵ年の中期経営計画(2024年3月期～2026年3月期)において、顧客の真のニーズを引き出し、生産効率向上に寄与するソリューションの実現に向けて、グループ一丸となって取り組んでまいりました。

この結果、売上高につきましては、日本国内における工作機械の取扱いが好調に推移したことに加え、新たに開設した府中倉庫の稼働により増加いたしました。

営業利益につきましては、主に関税等の影響を受け米国子会社における工作機械の取扱いが低調に推移したことにより減益となりました。

なお、経常利益につきましては、主に来期竣工予定の成田新倉庫建設に係る借入の増加に伴い支払利息80百万円を営業外費用に計上いたしましたでしたが、前年同期に計上した営業外業務委託料が減少した影響により増加いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高99億53百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益4億8百万円(前年同期比7.1%減)、経常利益3億56百万円(前年同期比13.5%増)、親会社株主に帰属する中間純利益2億30百万円(前年同期比15.8%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①梱包事業部門

日本国内における工作機械の輸出取扱いが好調に推移したことに加え、電力変換装置の取扱いが増加したことにより売上高は増加いたしました。

セグメント利益につきましては、関税等の影響により米国子会社における工作機械の取扱いが低調に推移したため、減益となりました。

この結果、当該部門の業績は、売上高69億44百万円(前年同期比1.9%増)、セグメント利益7億36百万円(前年同期比4.3%減)となりました。

②運輸事業部門

医療機器の取扱いが軟調に推移したことにより売上高は減少いたしました。

セグメント利益につきましては、輸送費の値上がり分について顧客への価格転嫁を進めたことにより増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高13億17百万円(前年同期比1.7%減)、セグメント利益1億59百万円(前年同期比40.9%増)となりました。

③倉庫事業部門

新たに開設した府中倉庫の稼働及び顧客の倉庫集約により生じた空き倉庫スペースへの客付けが進んだことにより売上高、セグメント利益ともに増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高15億69百万円(前年同期比19.5%増)、セグメント利益2億33百万円(前年同期比2.7%増)となりました。

④賃貸ビル事業部門

本社ビルの稼働率が低下したことにより売上高、セグメント利益ともに減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高1億22百万円(前年同期比3.6%減)、セグメント利益39百万円(前年同期比0.4%減)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産

当中間連結会計期間末の財政状態は、総資産237億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億79百万円の減少となりました。主な内容は、以下のとおりであります。

流動資産につきましては、67億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億6百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少16億32百万円、売掛金の減少1億71百万円、原材料及び貯蔵品の減少12百万円によるものであります。

固定資産につきましては、170億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億27百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産において、建物及び構築物の減少4億58百万円、リース資産の減少1億35百万円、建設仮勘定の増加16億53百万円、無形固定資産において、ソフトウェアの減少31百万円、投資その他の資産において、繰延税金資産の減少1億6百万円によるものであります。

②負債

当中間連結会計期間末の負債合計は、123億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億29百万円減少いたしました。

流動負債につきましては、54億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億1百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金の減少2億7百万円、賞与引当金の減少1億42百万円、その他の減少6億36百万円によるものであります。

固定負債につきましては、69億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億71百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金の増加7億61百万円、リース債務の減少23百万円、退職給付に係る負債の増加12百万円によるものであります。

③純資産

純資産につきましては、114億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億50百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金の増加56百万円、その他有価証券評価差額金の増加98百万円、為替換算調整勘定の減少5億40百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の47.2%から47.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2025年5月14日公表の業績予想から変更はありません。また、今後何らかの要因により業績予想を見直す必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,803,639	2,171,041
受取手形	11,658	7,414
売掛金	3,372,307	3,201,303
電子記録債権	177,254	175,910
原材料及び貯蔵品	402,324	389,830
その他	753,469	768,132
貸倒引当金	△5,100	△5,000
流動資産合計	8,515,553	6,708,632
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,596,656	8,138,120
機械装置及び運搬具(純額)	401,714	354,504
土地	3,175,336	3,096,215
リース資産(純額)	591,692	456,430
建設仮勘定	772,303	2,425,724
その他(純額)	42,858	48,418
有形固定資産合計	13,580,561	14,519,414
無形固定資産		
ソフトウェア	190,229	158,814
その他	533	482
無形固定資産合計	190,763	159,296
投資その他の資産		
投資有価証券	516,829	656,406
繰延税金資産	844,586	738,296
その他	1,106,573	1,091,371
貸倒引当金	△80,859	△79,099
投資その他の資産合計	2,387,129	2,406,975
固定資産合計	16,158,455	17,085,685
資産合計	24,674,008	23,794,317

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	737,782	655,194
短期借入金	3,366,154	3,158,736
リース債務	347,130	224,452
未払法人税等	201,019	91,824
賞与引当金	521,274	378,849
その他	1,539,850	902,896
流動負債合計	6,713,211	5,411,953
固定負債		
長期借入金	4,102,273	4,863,356
リース債務	162,663	139,427
退職給付に係る負債	802,855	815,509
資産除去債務	498,725	503,774
デリバティブ債務	52,920	61,052
その他	544,377	552,514
固定負債合計	6,163,815	6,935,634
負債合計	12,877,026	12,347,588
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,523,866	2,523,866
資本剰余金	2,477,567	2,487,291
利益剰余金	5,653,395	5,710,344
自己株式	△231,349	△208,673
株主資本合計	10,423,479	10,512,828
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	263,373	362,234
為替換算調整勘定	899,090	358,368
退職給付に係る調整累計額	48,634	47,783
その他の包括利益累計額合計	1,211,098	768,386
新株予約権	47,277	47,277
非支配株主持分	115,126	118,237
純資産合計	11,796,981	11,446,729
負債純資産合計	24,674,008	23,794,317

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	9,595,378	9,953,835
売上原価	7,508,460	7,902,970
売上総利益	2,086,918	2,050,865
販売費及び一般管理費		
販売費	760,131	764,934
一般管理費	886,696	877,202
販売費及び一般管理費合計	1,646,828	1,642,137
営業利益	440,089	408,727
営業外収益		
受取利息	9,058	14,272
受取配当金	9,228	11,442
受取保険金	7,861	8,045
損害賠償金収入	36,113	—
デリバティブ評価益	13,815	63,752
その他	17,488	10,213
営業外収益合計	93,566	107,726
営業外費用		
支払利息	35,533	80,044
為替差損	74,520	66,487
シンジケートローン手数料	499	3,224
デリバティブ評価損	—	10,312
営業外業務委託料	92,665	—
貸倒引当金繰入額	12,988	△1,500
その他	2,884	904
営業外費用合計	219,094	159,473
経常利益	314,562	356,980
特別利益		
固定資産売却益	2,751	—
特別利益合計	2,751	—
税金等調整前中間純利益	317,313	356,980
法人税、住民税及び事業税	116,563	53,865
法人税等調整額	△24	69,508
法人税等合計	116,538	123,373
中間純利益	200,774	233,607
非支配株主に帰属する中間純利益	1,747	3,111
親会社株主に帰属する中間純利益	199,026	230,495

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	200,774	233,607
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48,227	98,861
為替換算調整勘定	630,563	△540,722
退職給付に係る調整額	3,558	△850
その他の包括利益合計	585,893	△442,712
中間包括利益	786,668	△209,105
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	784,920	△212,216
非支配株主に係る中間包括利益	1,747	3,111

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,815,174	1,340,176	1,312,756	127,271	9,595,378	9,595,378
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	485	2,621	—	—	3,107	3,107
計	6,815,660	1,342,797	1,312,756	127,271	9,598,485	9,598,485
セグメント利益	769,374	113,442	227,747	39,873	1,150,438	1,150,438

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,150,438
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△710,348
中間連結損益計算書の営業利益	440,089

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,944,788	1,317,264	1,569,133	122,649	9,953,835	9,953,835
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,876	—	—	1,876	1,876
計	6,944,788	1,319,141	1,569,133	122,649	9,955,712	9,955,712
セグメント利益	736,519	159,795	233,833	39,706	1,169,854	1,169,854

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,169,854
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△761,127
中間連結損益計算書の営業利益	408,727

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。